

第11回 「プラスチックごみ対策に関する意識調査」

1 調査目的

プラスチックごみ対策に関する県民の意識を調査し、今後の施策の参考とします。

【プラスチックごみ対策に係る情勢】

プラスチックは、軽くて丈夫であるという便利な特性から、様々な製品に利用される一方、適正に廃棄されず海洋プラスチックごみ問題を引き起こしているなど課題もあります。

日本では2020年にレジ袋有料化が始まり、有料化前(2019年)には約20万トンあったレジ袋の国内流通量が、有料化後(2021年)には約10万トンに半減※しました。また、2022年には「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行され、プラスチックの製品設計からごみ処理までのライフサイクル各段階で、資源循環の取組を促進することとされました。※ 出展：日本経済総合研究センター「包装資材シェア事典 2021年版」

(担当課：環境森林部 資源循環推進課)

2 調査概要

(1) 調査対象者

754名 (とちぎネットアンケート協力者)

(2) 調査期間

令和6(2024)年1月9日～1月22日

(3) 調査方法

電子メールにより周知・回答依頼。電子申請により回答

3 回答者属性

回答数 345名 (回答率45.8%)

(1) 男女別内訳

性別	回答者数	構成比
男性	169	49.0 %
女性	172	49.9 %
答えたくない、わからない、その他	4	1.2 %
計	345	

(2) 年代別内訳

年代	回答者数	構成比
10代	1	0.3 %
20代	6	1.7 %
30代	31	9.0 %
40代	89	25.8 %
50代	92	26.7 %
60代	73	21.2 %
70代以上	53	15.4 %
計	345	

(3) 地域別内訳

地域	回答者数	構成比
県央	177	51.3 %
県南	89	25.8 %
県北	79	22.9 %
計	345	

(注)

(1) 調査結果に使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。

(2) 割合を百分率(%)で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示。四捨五入の結果、合計が100%にならないことがあります。

(3) 図表中の語句は、表記を短縮・簡略化している場合があります。

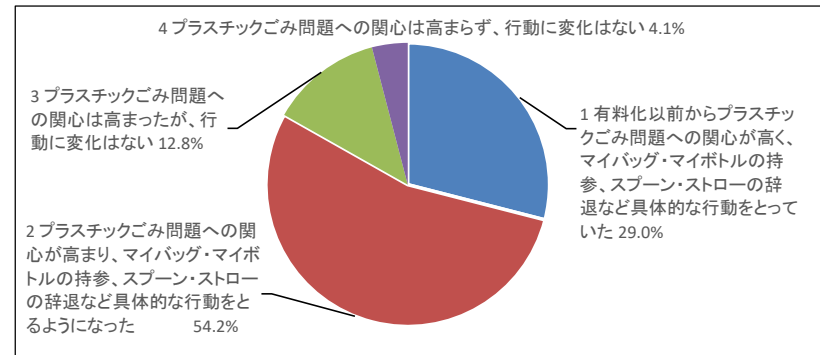
4 調査結果

問1 あなたは、レジ袋有料化により、プラスチックごみ問題への関心やご自身の行動に変化がありましたか。

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 有料化以前からプラスチックごみ問題への関心が高く、マイバッグ・マイボトルの持参、スプーン・ストローの辞退など具体的な行動をとっていた	29.0%	100
2 プラスチックごみ問題への関心が高まり、マイバッグ・マイボトルの持参、スプーン・ストローの辞退など具体的な行動をとるようになった	54.2%	187
3 プラスチックごみ問題への関心は高まったが、行動に変化はない	12.8%	44
4 プラスチックごみ問題への関心は高まらず、行動に変化はない	4.1%	14

(n = 345)



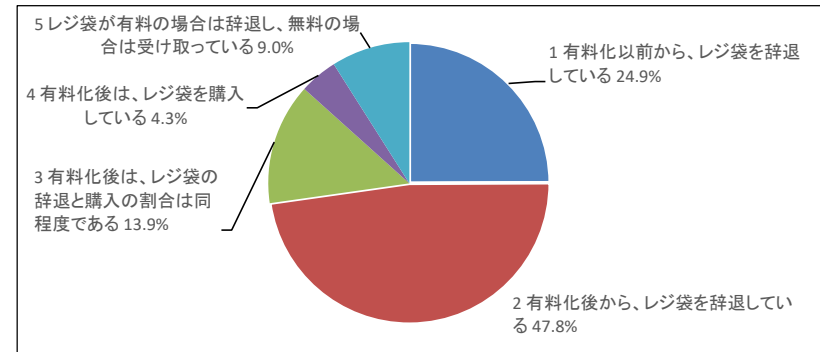
問2 あなたは、2020年7月にレジ袋有料化が始まってから、レジ袋を辞退するようになりましたか。

あなたの行動により近いものを選んでください。

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 有料化以前から、レジ袋を辞退している	24.9%	86
2 有料化後から、レジ袋を辞退している	47.8%	165
3 有料化後は、レジ袋の辞退と購入の割合は同程度である	13.9%	48
4 有料化後は、レジ袋を購入している	4.3%	15
5 レジ袋が有料の場合は辞退し、無料の場合は受け取っている	9.0%	31

(n = 345)

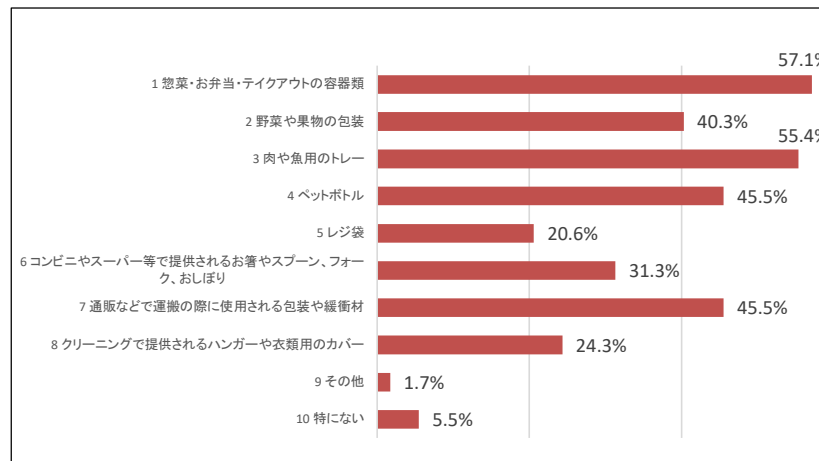


問3 あなたが、家庭で出るプラスチックごみの中で、排出量を減らしたいと感じるものはありますか。

(複数回答可)

	構成比	回答数
1 惣菜・お弁当・テイクアウトの容器類	57.1%	197
2 野菜や果物の包装	40.3%	139
3 肉や魚用のトレー	55.4%	191
4 ペットボトル	45.5%	157
5 レジ袋	20.6%	71
6 コンビニやスーパー等で提供されるお箸やスプーン、フォーク、おしぼり	31.3%	108
7 通販などで運搬の際に使用される包装や緩衝材	45.5%	157
8 クリーニングで提供されるハンガーや衣類用のカバー	24.3%	84
9 その他	1.7%	6
10 特にない	5.5%	19

(n = 345)



【その他の主な意見】

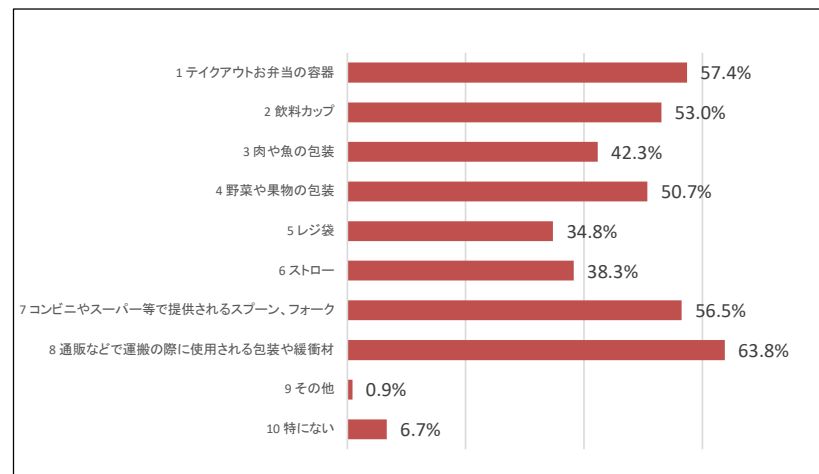
・お菓子類の袋、調味料の容器、洗剤・シャンプー・化粧品の容器

問4 あなたが、使い捨てプラスチックを削減する取組として、紙製・木製に置き換わってもいいと思う物は何ですか

(複数回答可)

	構成比	回答数
1 テイクアウトお弁当の容器	57.4%	198
2 飲料カップ	53.0%	183
3 肉や魚の包装	42.3%	146
4 野菜や果物の包装	50.7%	175
5 レジ袋	34.8%	120
6 ストロー	38.3%	132
7 コンビニやスーパー等で提供されるスプーン、フォーク	56.5%	195
8 通販などで運搬の際に使用される包装や緩衝材	63.8%	220
9 その他	0.9%	3
10 特にない	6.7%	23

(n = 345)



【その他の主な意見】

・冷凍食品トレー、お菓子の小袋、ごみ収集時の袋

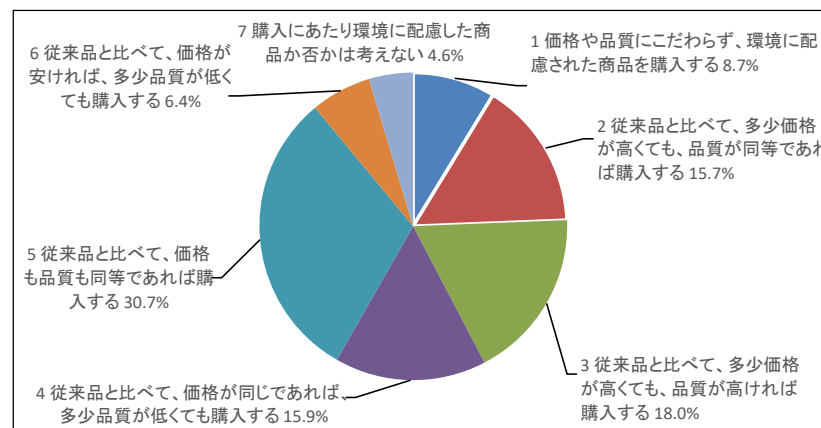
問5 あなたは、環境に配慮した商品(日用品・雑貨など)について、どのような条件が合えば購入してもよいと思いますか。

価格・品質などの条件のうち、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 価格や品質にこだわらず、環境に配慮された商品を購入する	8.7%	30
2 従来品と比べて、多少価格が高くても、品質が同等であれば購入する	15.7%	54
3 従来品と比べて、多少価格が高くても、品質が高ければ購入する	18.0%	62
4 従来品と比べて、価格が同じであれば、多少品質が低くても購入する	15.9%	55
5 従来品と比べて、価格も品質も同等であれば購入する	30.7%	106
6 従来品と比べて、価格が安ければ、多少品質が低くても購入する	6.4%	22
7 購入にあたり環境に配慮した商品か否かは考えない	4.6%	16

(n = 345)

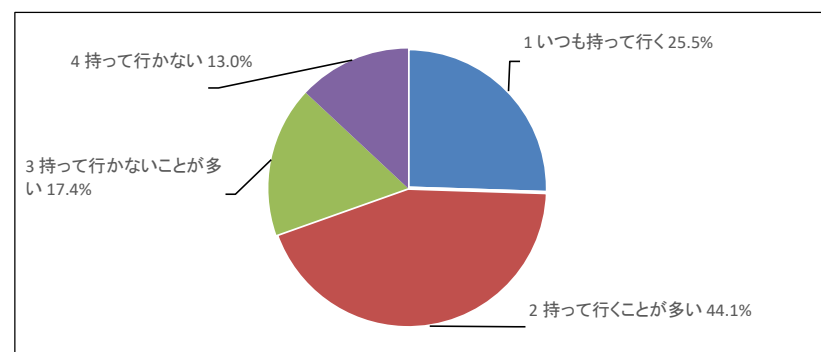


問6 あなたは、普段外出をする時、マイボトルで飲み物を持って行きますか。

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 いつも持って行く	25.5%	88
2 持って行くことが多い	44.1%	152
3 持って行かないことが多い	17.4%	60
4 持って行かない	13.0%	45

(n = 345)



問7 (問6で選択肢1~3を選んだ方にお聞きします。)

あなたが外出をする時、マイボトルに入れていく飲物は何ですか？

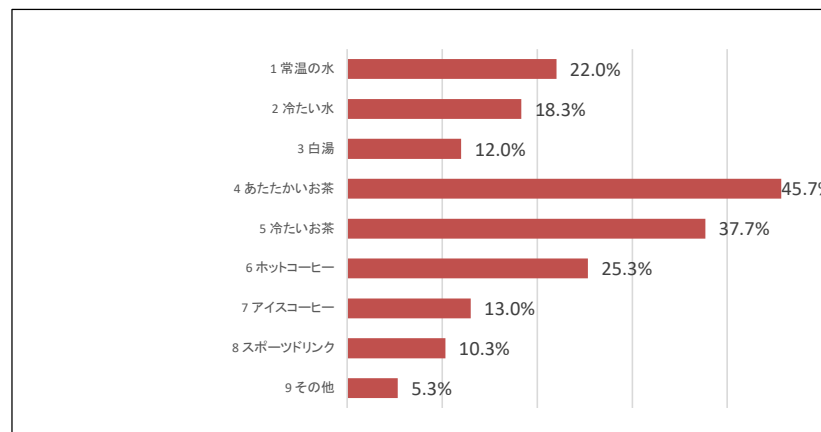
(複数回答可)

	構成比	回答数
1 常温の水	22.0%	66
2 冷たい水	18.3%	55
3 白湯	12.0%	36
4 あたたかいお茶	45.7%	137
5 冷たいお茶	37.7%	113
6 ホットコーヒー	25.3%	76
7 アイスコーヒー	13.0%	39
8 スポーツドリンク	10.3%	31
9 その他	5.3%	16

(n = 300)

【その他の主な意見】

・常温のお茶、プロテインドリンク、炭酸飲料、ジュース



問8 あなたは、外出先でマイボトルへの給水スポット(冷水)があったら、利用したいと思いますか？

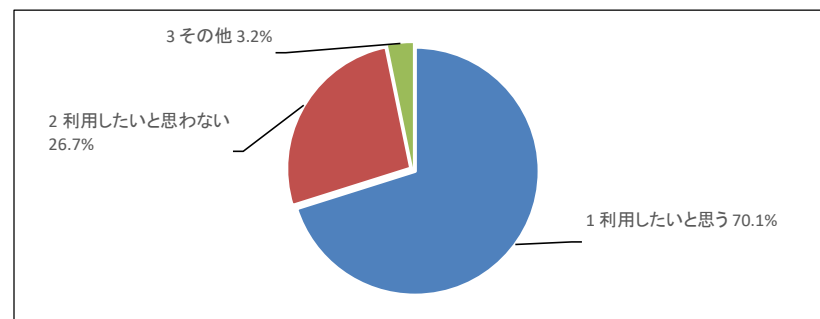
(1つ回答)

	構成比	回答数
1 利用したいと思う	70.1%	242
2 利用したいと思わない	26.7%	92
3 その他	3.2%	11

(n = 345)

【その他の主な意見】

- ・常温であれば利用したい。／冷水以外があるとよい。
- ・暑い時期なら利用したいが、寒い時期には利用しない。
- ・民間が無料でサービスとして提供してくれるのであれば利用する。
- ・清潔であれば利用したい。
- ・持参のマイボトルの量で十分であるため、利用する必要がない。



問9 あなたは、過去1年間を振り返って、道ばた等に落ちているごみを拾ったことがありますか？

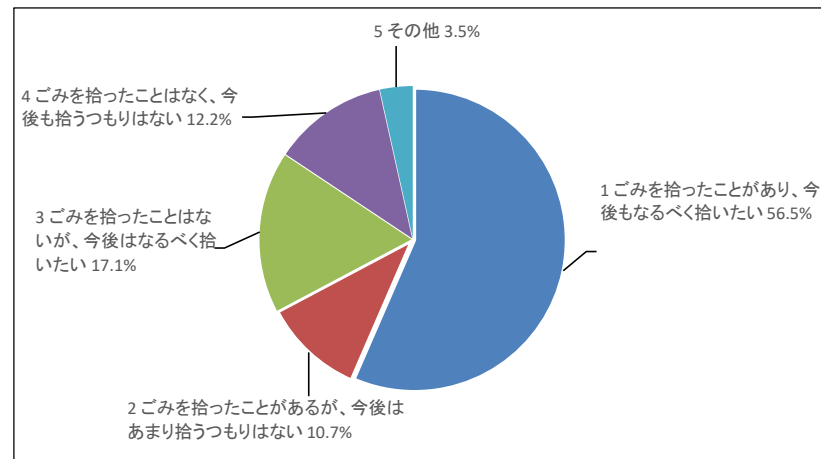
(1つ回答)

	構成比	回答数
1 ごみを拾ったことがあります、今後もなるべく拾いたい	56.5%	195
2 ごみを拾ったことがあるが、今後はあまり拾うつもりはない	10.7%	37
3 ごみを拾ったことはないが、今後はなるべく拾いたい	17.1%	59
4 ごみを拾ったことはなく、今後も拾うつもりはない	12.2%	42
5 その他	3.5%	12

(n = 345)

【その他の主な意見】

- ・ごみステーションのごみが散らかっているときは、時間が許す限り片付けている。
- ・出先だと処理に困るので拾わない。
- ・ごみ箱が近くにあれば拾う。
- ・感染症等が心配であり、なるべく拾いたくはないが、対策をして拾っている。
- ・コロナ禍以前は拾っていたが、今は拾っていない。



問10 あなたは、プラスチックごみ問題の解決へ貢献するため、普段からどのようなことに取り組む必要があると思いますか。

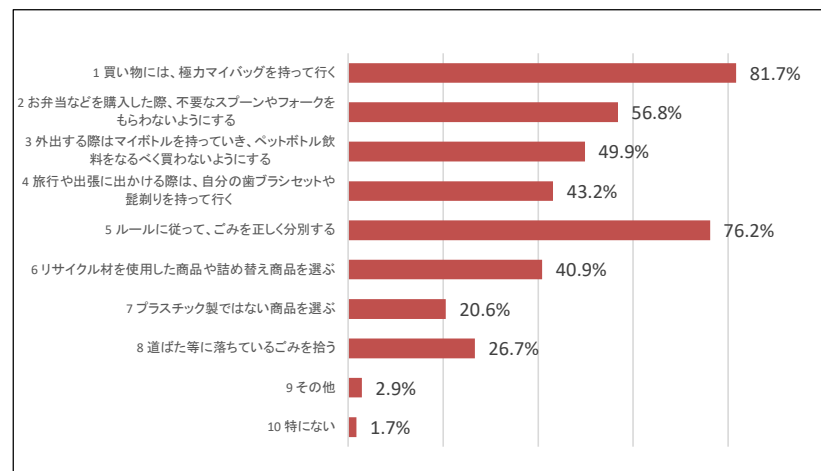
(複数回答可)

	構成比	回答数
1 買い物には、極力マイバッグを持って行く	81.7%	282
2 お弁当などを購入した際、不要なスプーンやフォークをもらわないようにする	56.8%	196
3 外出する際はマイボトルを持っていき、ペットボトル飲料をなるべく買わないようにする	49.9%	172
4 旅行や出張に出かける際は、自分の歯ブラシセットや髭剃りを持って行く	43.2%	149
5 ルールに従って、ごみを正しく分別する	76.2%	263
6 リサイクル材を使用した商品や詰め替え商品を選ぶ	40.9%	141
7 プラスチック製ではない商品を選ぶ	20.6%	71
8 道ばた等に落ちているごみを拾う	26.7%	92
9 その他	2.9%	10
10 特になし	1.7%	6

(n = 345)

【その他の主な意見】

- ・プラスチックがどう変化するか、何にどのような影響を及ぼすか知識を深める。
- ・個人でやる内容には限界があるので、行政が法律や条令で強制的に削減量を決めて実施した方が良い。
- ・スーパーなどでトレイを使わない包装を使用する。



【自由意見】

- ・敷地内に飛んでくるごみは拾う。プラスチックごみ問題の改善にも繋がるなら、もう少し積極的に行動したい。
- ・昭和の年代は量り売りがあった。温暖化や資源枯渇の今、不便になることも許容していくべき。
- ・「プラスチック＝環境に悪い」と決めつけず、リサイクル技術やごみ分別の徹底に力を入れてほしい。
- ・海外の市場やスーパーの映像を観ると、海外に比較して日本はパックされている商品だらけであることに気づく。
- ・プラスチックごみ問題のデータ(推移)を年数回、信頼できる機関から公表して欲しい。
- ・コロナなどの影響もあり、まだ他人が落としたごみを拾うことに抵抗がある。
- ・繰り返し使用できそうなプラスチック製のスプーンを一度で捨てるのはもったいないので再使用したい。
- ・プラスチック製品から代替製品への転換等の機運が高まっているが、その転換等の限界レベルについて国民が真剣に考えるべき。
- ・使ったプラスチック製品を綺麗にするために洗剤をたくさん使ってしまうなら、環境問題としては意味がない。
- ・マイバッグを携帯していない場合でも安売品を見つけた時などにはレジ袋を使うが、ごみ袋として再活用している。
- ・食品トレイは必要な人だけ使えるよう、製造側・販売側は過剰包装にならないよう陳列などを工夫してほしい。
- ・毎朝ウォーキングするが、道にはコンビニ弁当がらや包装が無造作に捨てられ、用水路にはペットボトルやレジ袋が溜まっている。この光景をポイ捨てる人に見せたい。